

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境								3.4
1 音環境		3.3	0.15	2.8	1.00			3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.1.2 設備騒音対策								
1.2 遮音		3.8	0.40	3.6	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能	T-2サッシを採用	5.0	0.40	5.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.5	0.35	3.4	1.00			3.5
2.1 室温制御		3.3	0.50	3.0	0.50			
2.1.1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2.1.2 負荷変動・進捗制御性								
2.1.3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
2.1.4 ゾーン別制御性	4管式FCU方式 冷暖同時PAC方式	4.0	0.38					
2.1.5 温度・湿度制御								
2.1.6 個別制御								
2.1.7 時間外空調に対する配慮								
2.1.8 監視システム								
2.2 湿度制御	加湿能力50%	5.0	0.20	5.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.2	0.30			
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	5.0	0.60			
3.1.2 方位別開口				3.0				
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
3.2.1 照明器具のグレア								
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.2.3 映り込み対策								
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.7	0.25	3.2	1.00			3.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策								
4.1.3 ダニ・カビ等								
4.1.4 レジオネラ対策								
4.2 換気		4.0	0.30	3.6	0.38			
4.2.1 換気量	換気量30m <sup>3</sup> /h・人	4.0	0.50	4.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	屋上に主要な排気ファンを設置	4.0	0.50	4.0	0.33			
4.2.4 給気計画								
4.3 運用管理		5.0	0.20					
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-					
4.3.2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.9
1 機能性		3.9	0.40	4.6	1.00			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性	個室:10m <sup>2</sup> /床、4床室:8m <sup>2</sup> /床 以上確保	3.0	-	5.0	1.00			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40			
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.6m	3.0	-	4.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-					
1.2.3 内装計画	内観インテリアの検討、施工時にモックアップ作成	5.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い床材等仕上材の使用、汚れ、ホコリへの配慮	5.0	0.50					
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
1.3.3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		4.1	0.31					4.1
2.1 耐震・免震		4.6	0.48					
2.1.1 耐震性	重要度係数1.5倍(新病院棟)	5.0	0.80					
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33					
2.2.1 躯体材料の耐用年数	等級3(住宅の品質確保の促進に関する法律/コンクリートの評価方法)	5.0	0.23					
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源の分散化・耐震Sクラス	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具・受水槽分散化(3基)	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源設備設置	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスS	5.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.8	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高4,150mm以上確保	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比:0.15確保(建物全体・共用部)、0.165、0.169確保(病室)	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		厚木市景観計画に配慮し、既存の自然環境を保存した計画	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	エントランスは大きな庇を設け、来院者を迎入れる計画	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率19.4%	4.2	0.30	-	-	4.2
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電の採用	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率機器の採用	4.1	0.30	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=17.4%	4.1		-	-	
集合住宅の評価			-		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭基礎および地下躯体に高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	砕石に再生クラッシュランを採用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	建物内部は乾式壁が多く分別可能、OA707、可動間仕切り等。	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	N2ガス消火	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		積極的な省エネルギー機器の使用 LCCO2排出率=85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	放流水質規制値 BOD15ppmの流域であるがBOD10ppmとした	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	車両動線の明確化、サービス車両用出入口確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	適正な大きさの廃棄物保管庫を計画	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	高層階の屋外広告物なし	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	